

「上正野田町内会」名称の由来について

近年、新しく当町内の住民になられる方々が増すにつれ、住居表示は大安寺中町、大安寺東町、大安寺南町というように分かれているのに、町内会の名称は何故「上正野田町内会」なのかという問い合わせが多く寄せられるようになりました。

そこで、平成10年8月に、当時の町内会長であった鳥越修氏が町内会報に寄稿されたお知らせを改めて紹介しますので、「上正野田町内会」の名称の由来を皆様にご承知いただければ幸いです。

平成28年8月1日

上正野田町内会会長 田中克人

* * * * *

平成10年8月1日

上正野田町内会会長 鳥越 修

私たちの町内会の名称は^{かみしようのだ}上正野田町内会です(お知らせ)

最近町内会の名称について、時々お尋ねがあり、なぜ「大安寺中町町内会」ではないのか?というご質問もあって、町内会の名称や土地名の由来について、ご存知でない方もおありのようですから、このことについて、皆様にお知らせいたします。

もともと、正野田という所は、上正野田(私たちの町内会)、東正野田(大安寺東町)、下正野田(大安寺南町一丁目、二丁目)の集落がそれぞれにかたまっていました。第2次大戦後この地区の区画の整理がなされたり、道路が新設されたりして段々整理され、岡山市の郊外ということで住居が次々と建てられて、多くの方々がお住まいになられるようになってきました。

昭和49年11月20日より、岡山市が大安寺、野殿地区に新住居表示を実施した際、便宜上道路を町の境として新町名をつけました。たまたま私たちの上正野田地区は、吉備線の南側に新しい東西の道路、コミュニティ横の南北の道路を境に、大安寺中町、大安寺東町、大安寺南町一丁目、大安寺南町二丁目の4町名に分割されてしまいました。

しかし、住居表示がそうなったとはいえ、昔からお互いに助け合い一緒にまとまって生活をしてきたものですから、町内会としては今までどおりの名称で町内会の運営に当たりましょう、ということになり、元の町内会名を残したわけです。(裏面に続く)

そういうわけで、私たちの町内会は「上正野田町内会」として、岡山市のほうへもその名称が届けてあります。「上正野田町内会」の名称が相手の方によく分からない場合には、その頭に「大野学区」を付けて下さって「大野学区の上正野田町内会」といって下さればよろしいし、場所を示される場合には、新住居表示の町名を言って下さってもよろしいし、「『吉備線大安寺駅』のある町内会」といって下さると、よく分かると思います。

ついでに、私たちのこの地が岡山市に編入される前は、御津郡大野村大字大安寺字上正野田でした。大野村の「大野」は、大安寺の「大」と野田の「野」を取って名づけたものです。

なお、今の野野コミュニティハウスの所には大野小学校、井口医院の駐車場の所には大野村役場、井口医院の所には大野信用組合（農協の前身）が、その道を隔てて南側には大野駐在所があり、文字どおり大野村当時の村の中心でした。

津高郡	〔 野殿村	野殿村
駅矢郷		外 29ヶ村

大安寺、大野、正野田について（ご参考までに）

大野村誌(昭和 31 年 6 月)、岡山県大百科事典（昭和 55 年 1 月）などから拾いいたしますと、私たちの居住していますこの「大安寺」の地は、非常に古い土地柄のようです。

奈良朝時代には、もう既に「大安寺」の地に立派な田畑ができ上がっていたことが、奈良の大安寺伽藍縁起并流資材帳（寺の創建、変遷の歴史、及び資材目録の報告書、天平 16 年、744 年の記録）に記録されています。

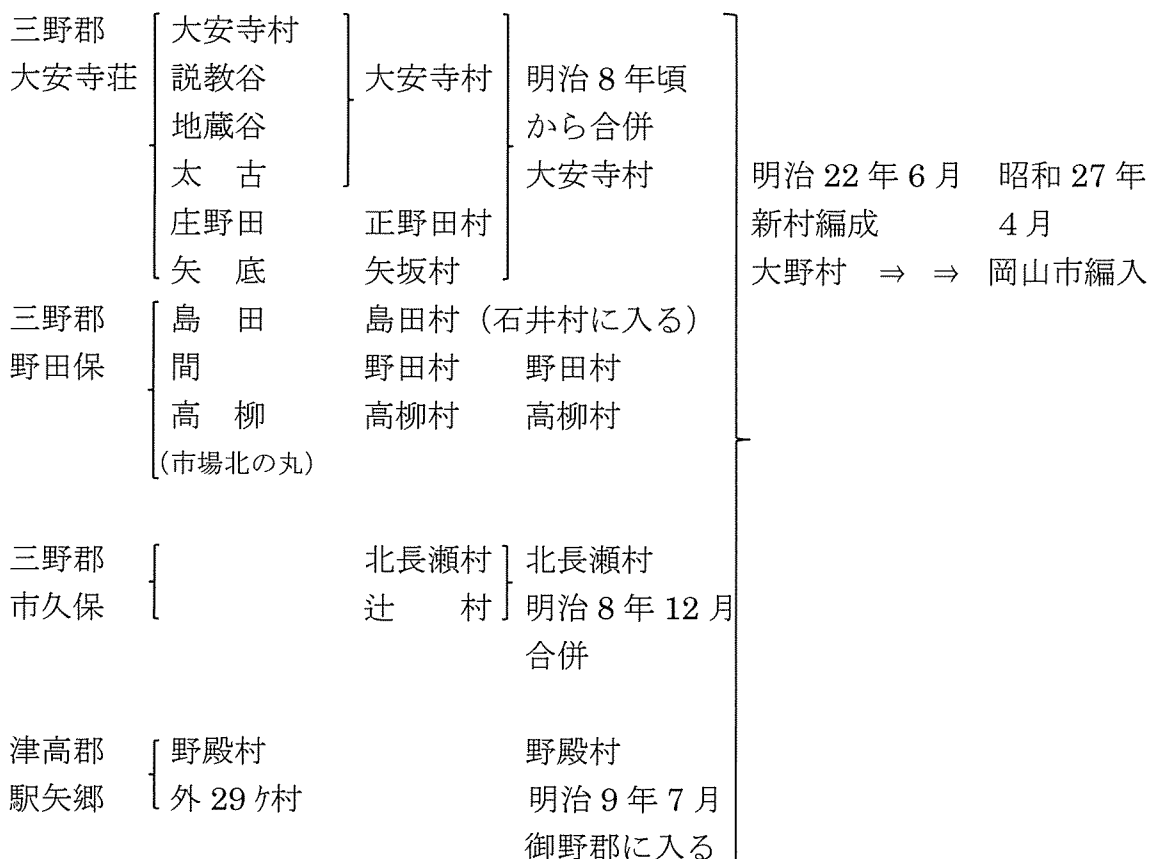
奈良の大安寺は奈良県添上郡大安寺村にあり、推古帝の 25 年（617 年）建立し、熊凝精舎と名づけ、聖武帝のとき大安寺と改め、寺領を施入されました。私たちの居住しますこの「大安寺」の名称は奈良の大安寺の寺領となったときからのことです。

大化元年（645 年）諸国に郡が置かれたとき、古の三野郡を二郡に分ち、三野、津高両郡とし、私たちのこの地は三野郡に属しました。また、郷、荘を立てた際、大倭の国（奈良県）大安寺の荘となったので、大安寺荘と称しました。

（3 ページに続く）

そのときより数百年を経て、松田氏（御津町金川）から、後は富山城（裏の矢坂山の山頂にあり）主の領となり、慶長年中(1596年頃)に、池田氏の属領となり、明治になって廃藩置県（明治4年、1871年）の実施まで、池田藩の所領でした。

明治以降の沿革は下の図のようです。



以上

(元町内会長 鳥越 修氏 寄稿文より転載)